

令和7年度 京都市「新体力テスト」【結果】

< 中 学 校 >

- 令和7年4月～6月に、全校で京都市独自の体力テストを実施。
- 前年度の京都市「新体力テスト」と比較して、男子は合計点で上昇傾向(2年男子を除く)。女子は全学年低下(特に、2・3年女子で低下傾向の種目が目立つ)。
- スポーツ庁「体力・運動能力調査」の令和6年度全国値と比較すると、(1年男子のボールを除く)ほぼ全ての種目が全国値を下回る。

— 結果概要 —

1. 実施内容等について

■ 実施種目

8種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	※20mシャトルラン/持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
運動能力	筋力	筋力・筋持久力	柔軟性	敏捷性	全身持久力	スピード・走能力	筋パワー・跳能力	筋パワー・投能力・巧ち性

※ 20mシャトルラン/持久走はどちらかを選択。

(多くの学校が20mシャトルランを選択。持久走は標本数が少ないため、本資料には20mシャトルランの結果を記載)

■ 人数(標本数)及び平均値 … 別紙1「学年別平均」を参照。

2. 前年度(令和6年度)本市調査との比較

- 合計点は、男子は令和6年度より若干の向上がみられる(2年男子を除く)が、女子は全学年で低下(特に2・3年女子で低下傾向の種目が目立つ)。
- 種目別にみると、反復横跳び(敏捷性)、50m走(スピード・走能力)は、低下傾向。
特に、立ち幅とび(筋パワー・跳能力)は男女全学年で低下。
握力(筋力)、上体起こし(筋力・筋持久力)、長座体前屈(柔軟性)は、上昇傾向。
- 1年男子は、他の学年に比較して、令和6年度より向上した種目が多く、合計点の伸び率も高い。
2・3年女子は、多くの種目が令和6年度を下回る。

< 令和6年度本市調査との比較 > ※低下傾向▲編掛け

種目	男 子			女 子		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年
握力	0.8%	0.3%	1.6%	0.0%	▲ 0.5%	0.2%
上体起こし	0.9%	0.6%	0.8%	1.5%	0.6%	▲ 0.3%
長座体前屈	2.2%	0.7%	2.0%	2.6%	▲ 1.3%	0.1%
反復横とび	0.2%	▲ 2.0%	▲ 0.6%	▲ 0.4%	▲ 2.1%	▲ 1.9%
20mシャトルラン	2.1%	0.0%	1.2%	1.2%	▲ 1.4%	▲ 1.0%
50m走	0.1%	▲ 0.6%	▲ 0.5%	▲ 0.2%	▲ 0.6%	▲ 0.8%
立ち幅とび	▲ 0.2%	▲ 0.9%	▲ 0.5%	▲ 1.4%	▲ 0.4%	▲ 1.9%
ボール投げ	4.9%	1.0%	0.8%	▲ 1.0%	▲ 0.0%	0.6%
合計点	1.9%	▲ 0.2%	0.5%	▲ 0.1%	▲ 1.6%	▲ 1.8%

3. スポーツ庁「体力・運動能力調査」(令和6年度)との比較

- ・ 1年男子のボール投げを除き、全種目・全学年で全国値を下回る。
- ・ 男女とも低さが目立つ種目は、握力(筋力)、上体起こし(筋力・筋持久力)、反復横とび(敏捷性)、20mシャトルラン(全身持久力)。女子では立ち幅跳び(筋パワー・跳能力)ボール投げ(筋パワー・投能力・巧み性)の低さも目立つ。
- ・ 上記は、近年同様の傾向が続いている。

<令和6年度全国調査との比較>※全国値より低い▲編掛け

種目	男子			女子		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年
握力	▲ 7.2%	▲ 6.1%	▲ 5.8%	▲ 6.1%	▲ 6.5%	▲ 7.8%
上体起こし	▲ 9.4%	▲ 7.4%	▲ 7.7%	▲ 9.6%	▲ 9.2%	▲ 12.2%
長座体前屈	▲ 0.5%	▲ 1.9%	▲ 2.8%	▲ 0.4%	▲ 2.9%	▲ 4.7%
反復横とび	▲ 6.0%	▲ 6.0%	▲ 5.8%	▲ 5.7%	▲ 5.5%	▲ 6.4%
20mシャトルラン	▲ 3.3%	▲ 4.2%	▲ 4.4%	▲ 6.5%	▲ 7.0%	▲ 8.3%
50m走	▲ 0.2%	▲ 1.0%	▲ 0.1%	▲ 0.2%	▲ 1.1%	▲ 1.8%
立ち幅とび	▲ 4.3%	▲ 3.6%	▲ 3.0%	▲ 5.1%	▲ 4.8%	▲ 6.0%
ボール投げ	0.3%	▲ 1.8%	▲ 1.2%	▲ 4.9%	▲ 6.7%	▲ 7.3%
合計点	▲ 7.1%	▲ 6.8%	▲ 6.0%	▲ 7.3%	▲ 7.7%	▲ 9.7%

4. 各種目の傾向

※詳細は、別紙2「経年変化資料」を参照。

握力(筋力)	6年度と比較するとやや上昇(2年女子を除く)。全国値より低く、差がある種目の1つ。
上体起こし(筋力・筋持久力)	全国値より低く、全学年で全国値との差が大きい。
長座体前屈(柔軟性)	6年度と比較すると特に1年男女で上昇。全国値よりやや低い。
反復横とび(敏捷性)	6年度と比較すると1年男子を除いて低下。全国値より低く、差がある種目の1つ。
20mシャトルラン(全身持久力)	全国値より低く、差がある種目の1つ。特に女子は全国値との差が大きい。
50m走(スピード・走能力)	6年度と比較すると低下傾向(1年男子を除く)。全国値より低いだが差は大きくない。
立ち幅とび(筋パワー・跳能力)	6年度と比較すると全学年で低下。全国値より低い。
ボール投げ(筋パワー・投能力・巧み性)	コロナを機に低下。1年男子のみ全国平均を上回るが、女子は全国値との差が大きい。

5. 他校種の傾向

【小学校】男子・女子とも合計点は若干向上(6年女子を除く。※全種目実施は4～6年)。全国値と比較すると、(長座体前屈と4、5年男子の50m走を除く)ほぼ全ての種目が全国値を下回る。

【高校】前年度と比較して、男子は合計点で上昇傾向(1年男子を除く)。女子は全学年低下。全国値と比較すると、ほとんどすべての種目で全国値を下回る(2年男子・3年女子の20mシャトルラン、2年男子の50m走を除く)。

6. 今後について

全市で体力向上を目指すため、下記の取組を有効活用してください。

- ・ 各校の体力向上に関わる年間計画「1校1プラン」
- ・ ICTを活用した体力向上(スポーツチャレンジ大会、今月のダンス動画、京都サンガF.C.オンライントレーニング) ☞ GIGAポータルページからチェックしてください。
- ・ 新体力テスト集計システム(DOSA)を用いた分析や、個人結果表等の生徒へのフィードバックの活用

参考資料

- ・スポーツ庁「体力・運動能力調査」
- ・政府統計ポータルサイト「e-Stat」